Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J・E・T・S・NEWS Vol.35

発行所／460-0022 愛知県名古屋市中区金山2丁目1-3 東海聖書神学塾内
学会サイト・アクセス　http://evangelical-thenology.jp

新全国理事長挨拶

全国理事長　津村　春英

昨年、思いがけなく日本福音主義神学会西部部会の理事長に推され、また、このたびは当番制で全国の理事長に就任することになりました。不相応な者ですが、ここにご挨拶を申しあげます。

思えば昭和61年（1984年）4月に、服部嘉明先生、鍋谷堯爾先生のご指導の下、西部部会に入会させていただいてからもう28年が経過しました。当時の折尾女子学園（福岡・現折尾愛真学園）で開かれた研究会議で、「詩篇の『道』の一考察」を発表させていただき、懸賞論文にも挙げていただいたのを皮切りに、毎年、研究会議に出席させていただいておりましたところ、平成4年（1992年）5月に理事に選出されて席を与えられ、昨年5月の理事長就任に至りました。

主の憐れみにより、今までに西部部会の研究会議では、「聖書学」に関する研究発表や講演を5件、「教会と国家」に関する講演を1件、さらに、2008年の神戸での全国研究会議で発表の機会を与えていただきました。他の学会にも名を連ねていますが、この日本福音主義神学会は、第四条にありますように、「教会の健全な成長と発展に奉仕することを目的とする」というところが特徴であります。教会と神学教育の両方に責任を持つ者として、これらの学会活動を通して育んでいただきましたことを感謝しています。

さて、今春、大阪キリスト教短期大学で二つの学会が開かれました。一つは3月29日の日本基督教学会近畿支部のシンポジウム「原発問題とキリスト教」であり、他の一つは4月16日の日本福音主義神学会西部部会の「神の国のホーリスティック宣教――東日本大震災をうけて」と題した研究会議であり、いずれも参加者が約80名で盛会でありました。

この二つの学会の性質は必ずしも同じではありませんが、昨年の3月11日に起きた東日本大震災により、突きつけられた厳しい現実の中で、キリスト教会は、またキリスト者は如何にあるべきかを神学的に考察する良き機会となりました。しかし、これは単なる一過性の問題ではなく、ともすれば教会の中だけに終始しがちな福音主義教会にとって、継続して真剣に取り組まなければならない重要な課題ではないかと考えます。

歴代の理事長が残された偉大な足跡をたどりつつ、会員の皆様のさらなるご尽力を賜りながら、この学会の目的が遂行されますようにと願ってやみません。学会誌においても、引き続き優れた論文が投稿されることを期待します。さらに、2014年の秋には、次の全国大会が開かれる予定です。その主題と内容についても東部、中部、西部のそれぞれで議論を大いに重ねていただき、御名を高らかに讃美することのできる大会となりますよう、皆様のご協力とご加祷をお願い申し上げます。

（大阪キリスト教短期大学学長、
大阪日本橋キリスト教会牧師）

◆各地区部会報告◆

東部部会報告

1．理事会の構成

◎役員理事：理事長：内田和彦
書　記：関野祐二
会　計：岡村直樹
◎学 会 誌：木内伸嘉、藤本満
◎部門理事：聖書神学：三好明、大坂太郎
組織神学：渡辺聡
歴史神学：丸山悟司
実践神学：藤原導夫、福井誠

2．研究会・講演会

①春期研究会　2011年6月20日（月）
（お茶の水クリスチャンセンター）
主題「聖餐論」
発題1　坂本誠氏（日本ナザレン神学校校長）
「不信仰に陥った者たちへの励ましとしての聖餐」
――ウエスレーの宣教のわざとしての聖餐を土台にして――
発題2　大坂太郎氏（日本アッセンブリーズ・オブ・ゴット教団ベテルキリスト教会牧師）
「Ⅰコリント11章17節～34節に関する釈義的考察」
――特に主の晩餐と伝統・宣教・一致をめぐって――
発題3　三好明氏（日本キリスト教会神学校校長）
「教会形成における聖餐の意義
――カルヴァンの立場から――」
コーディネーター：丸山悟司氏
（日本バプテスト教会連合御園バプテスト教会牧師）
②秋期研究会：2011年10月31日～11月2日の第13回全国研究会議に合流
東部部会が第13回全国研究会議の準備を担当

3．会員異動

〈入　会〉正会員：児玉智継氏、井上　誠氏
準会員：安田正人氏、安黒拓人氏、新藤光輝氏
〈転入会〉宮村武夫氏（西部部会より）
〈転　出〉大瀧信也氏（西部部会へ）
〈退　会〉神谷聰子氏

中部部会報告

1．理事会構成

◎役員理事：理事長：安村仁志
書　記：関　昌宏
会　計：佐々木保雄
◎学会誌：檀原久由、東　正明
◎中部部会会報：檀原久由
◎理事（ホームページ）：池上　泉

2．研究会・講演会（一麦キリスト教会）

春期公開講演会 2011年5月16日（月）
主題「第3回ローザンヌ世界宣教会議について」
講師：正木牧人氏（神戸ルーテル神学校校長）
今回は、東海福音フェローシップと共催で行った秋期研究発表会　2010年11月7日（月）
（金山キリスト教会）
主題「国民性と説教
――全国研究会議の発題を踏まえて――」
発表者:モニカ・ブルッテル氏（東海聖書神学塾教師）

3．中部部会会報　第12号

安村　仁志氏「巻頭言」
正木　正人氏「第3回ローザンヌ世界宣教会議」
吉澤　慎也氏「学生宣教の今日的意義」
松浦　　剛氏「宗教改革者ルター」
東　　正明氏「牧会カウンセリングへの一考察」

4．会員異動

〈入会〉森下信義氏
〈退会〉吉野千秋氏

西部部会報告

1．理事会構成

◎役員理事：理事長：津村春英
書　記：正木牧人
会　計：福田充男
◎学会誌：市川康則、安黒　務
◎理　事：大田裕作、瀧浦　滋、橋本昭夫、真鍋　孝、鎌野善三、鎌野直人、坂井純人

2．研究会・講演会

①春期研究会　2011年4月18日（月）
（神戸改革派神学校）
主題「聖餐論への新しいアプローチ」
講師：三好明久氏
（日本アドベント教団上野芝キリスト教会牧師）
応答：坂井純人氏
（神戸神学館教師　改革長老東須磨教会牧師）
正木正人氏（神戸ルーテル神学校校長）
②秋期研究会　第13回全国研究会議に合流

3．会員異動

〈入会〉正会員：サイモン・カズンズ氏、金井　望氏、神田宏大氏、岩崎幸三氏、
〈転出〉宮村武夫氏（東部部会へ）

学会誌報告

①学会誌委員

東部：木内伸嘉（編集長）、藤本　満（会計）
中部：壇原久由（書記）、東　正明
西部：市川康則、安黒　務

②42号学会誌発行

特集テーマ「聖餐」

③43号学会誌テーマは、「説教」に決定

2011年に開かれた全国研究会議での発表者による論文を中心に編集

◆全国理事会議事録◆

〔日時〕2012年6月4日（月）　午後2：00～4：30
〔場所〕名古屋国鉄会館会議室7階ひかり
〔出席〕東　部：内田和彦（全国理事長）、
　　大坂太郎（部会次期理事長候補）
　中　部：佐々木保雄（全国書記）、
　　檀原久由（学会誌）
　西　部：津村春英（部会理事長）、
　　鎌野直人（全国会計）

■開会の御言：内田和彦理事長
使徒の働き13章36節

■祈祷：内田和彦理事長

■報告：

1．全国理事会（佐々木）　配布「2011年度全国理事会議事録」
・前回理事会で承認済み。議事録を確認した。

2．各部会報告　承認
・西部：（津村）　2012年度西部部会理事会報告より報告。
・中部：（佐々木）　2012年度部会総会議事録より報告。
・東部：（内田）　2012年度東部部会総会資料より報告。

3．学会誌：報告（檀原）
・学会誌委員会議事録より報告
・第42号「聖餐」を発行した。

4．会計（鎌野）
・別紙「全国会計2011年度決算報告」に基づいて報告。承認。

5．JETSニュース（佐々木）　34号を発行した。

6．第13回全国研究会議（内田）
1）日時:2011年10月31日(月)15時～11月2日(水)12時30分
2）会場：中央聖書神学校（東京都豊島区駒込3-15-20）
3）主題：「説教、コミュニケーション＆トランスフォーメーション」
4）内容と講演
【開会礼拝】説教者：北野耕一氏
【講演Ⅰ】「福音主義教会における説教
　—何を、誰に、どのように語って来たのか」
　講演者：山口陽一氏／応答：正木牧人氏
【講演Ⅱ】「何を語るのか」
　講演者：堀　肇氏／相馬伸郎氏
【講演Ⅲ】「誰に語るのか」
　講演者：安村仁志氏／大和昌平氏
【講演Ⅳ】「どのように語るのか」
　講演者：藤原導夫氏／鷹取裕成氏
【ワークショップ】
①テクノロジーと説教　発表者：船津信成氏
②国民性と説教
　発表者：モニカ・ブルッテル氏
　（ドイツ宣教師の視点から）
③国民性と説教
　発表者：趙南珠氏（韓国人宣教師の視点から）
④教会暦と説教　発表者：岡崎孝志氏
⑤説教に代わる真理の伝達
　発表者：福田充男氏
【閉会礼拝】内田和彦全国理事長
5）参加者：165名（神学生68名）
6）会計決算報告：508,175

■審議：

1．役員構成を以下のように確認した。
・全国理事長：津村春英、全国書記：佐々木保雄、全国会計：鎌野直人

2．学会誌第43号は、2011年に開催された全国研究会議での発表者による「説教」に関する論文を中心に編集発行予定。なお会計処理に関して、会計年度を全国会計の年度に合わせること、また2011年度の収入に関して、全国会計との相違があるので、整合性を確認することなどが話し合われた。

3．2012年度全国会計予算に関して、学会誌出版費90万円を80万円に、雑費予備費を703,371円に訂正し、別紙のように承認した。

4．JETSニュースの発行を承認した。
・7月末までに原稿提出のこと。巻頭言：津村春英理事長。作成担当：佐々木

5．第14回全国研究会議について話し合われ以下のことが確認された。
1）主題としては、多様化する福音派の現況と問題を見据えながら、福音主義神学の課題を取り上げる時期ではないかとの理解に至り、「福音主義とは何か」をテーマに開催する。
2）準備委員会は、西部部会を中心に、2013年6月3日（月）全国理事会に合わせて開催し、具体的な内容について検討する。
3）第14回全国研究会議の主題「福音主義とは何か」との関連性で、第15回全国研究会議は、宗教改革500年を迎えて、宗教改革に関するテーマを取り上げる方向で話し合われた。

6. 次回全国理事会（全国研究会議準備委員会も含む）の予定は以下の通りとした。
2013年6月3日（月）13時～17時　名古屋国鉄会館会議室7階ひかり
召集及びアジェンダの用意は津村春英全国理事長

■閉会の祈り：津村春英全国理事長

日本福音主義神学会 全国 会計

2011年度決算報告 および 2012年度予算

収入の部			
項　目	2011年度予算	2011年度決算	2012年度予算
東部分担金	350,000	0	700,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	400,000	0	800,000
学会誌売上	50,000	50,043	50,000
広告収入	150,000	130,000	150,000
献　金	0	0	0
雑収入	0	20,248	0
前年度繰越	905,998	905,998	18,371
合　計	1,925,998	1,176,289	1,788,371

支出の部			
項　目	2011年度予算	2011年度決算	2012年度予算
学会誌出版費	900,000	900,420	800,000
全国理事会費	150,000	125,100	150,000
事務通信費	50,000	1,273	50,000
ニュース発行費	35,000	31,125	35,000
研究助成費	50,000	0	50,000
全国研究会議費	100,000	100,000	0
名簿作成費	0	0	0
雑費・予備費	640,998	0	703,371
次年度繰越	0	18,371	0
合　計	1,925,998	1,176,289	1,788,371

総　計		現 在 額	
項　目	金　額	項　目	金　額
出版基金	1,208,421	郵便振替	1,224,462
次年度繰越	18,371	現　金	2,330
合　計	1,226,792	合　計	1,226,792

日本福音主義神学会ニュース
2012年7月1日発行

発　行　日本福音主義神学会
編　集　佐々木保雄
印　刷　(株) あるむ